

0年記念事業開催による観光振興対策費の増などによるものです。

■地方交付税は、42億1447万円、前年度に比べ1億3749万2千円の増（前年度比3.4%の増）

市町村に生じる財政力の格差を調整するために国から交付されるのが地方交付税です。歳入全体に占める地方交付税の割合は、22年度決算では54.5%となり、町税収入（町民税や固定資産税など）の14.9%を大きく上回り町にとっては大かたき財源となっています。

一方、町税をはじめ独自に確保できる町の自主財源は、町全体の収入の26.4%となっており、残りの財源を国や道などに依存する割合が高くなっています。

■町債（町の借金）残高は、12億9858万4千円で14億4602万8千円の減（前年度比10.2%の減）

平成22年度の決算では、町債の発行額は4億4211万8千円で、前年度に比べ1822万8千円増加しました。借入額の増加は、臨時財政対策債といわれるもので、地方の財源不足を特例的に補てんするために国から認められた地方債で、本来、地方交付税として国から町に交付すべきお金が国の財源不足などにより、町が地方債として借入し財源不足を補っているものです。この元利償還金（返済額）は全額が後年度の交付税により措置されるため、いわば交付税の肩代わりのようなものです。

一方、町債の償還額（利息を含む）は21億1310万3千円（うち3億8543万8千円は繰上償還）、町債残高は21年度末の14億4461万2千円から、22年度末には14億4602万8千円減の12億9858万4千円となりました。

町債の償還額は平成21年度末でピークを過ぎたものの償還額は依然多額で推移することから、今後の新たな起債事業（借金をして行う事業）に対しては、今やらなければならぬ事業なのか、将来的な費用対効果を十分に検証しながら、新たな借入は抑制していきます。

なお、町債の残高を町民一人当たりで換算すると、約127万円（前年度138万円）になります。（平成23年9月末住民基本台帳人口・10,037人）

## ◆特別会計の状況

### ■国民健康保険特別会計

平成22年度の1年間に、町に入った金額（歳入）15億5211万4千円から使った金額（歳出）15億5046万2千円を差引いた額は、1652万円（実質収支）となり、平成23年度に繰り越しました。

### ■公共下水道事業特別会計

平成22年度の1年間に、町に入った金額（歳入）8億4877万1千円から使った金額（歳出）9億4036万1千円を差引いた歳入不足額は、9159万円（実質収支）となり、この歳入不足額は翌年度の歳入を繰り上げて補てんしました。

### ■老人保健特別会計

老人保健法は、平成19年度で制度廃止になったことから、平成22年度の決算額は過年度の医療費の精算となっています。

平成22年度の1年間に、町に入った金額（歳入）270万9千円から使った金額（歳出）25万2千円を差引いた額は、245万7千円（実質収支）となり、平成23年度一般会計に引き継ぎました。

### ■介護保険特別会計

平成22年度の1年間に、町に入った金額（歳入）7億8952万7千円から使った金額（歳出）7億7192万円を差引いた額は、1760万7千円（実質収支）となり、平成23年度に繰り越しました。

### ■簡易水道事業特別会計

平成22年度の1年間に、町に入った金額（歳入）9335万5千円から使った金額（歳出）9054万9千円を差引いた額は、280万6千円（実質収支）となり、平成23年度に繰り越しました。

### ■後期高齢者医療特別会計

平成22年度の1年間に、町に入った金額（歳入）1億3666万円から使った金額（歳出）1億3222万7千円を差引いた額は、443万3千円（実質収支）となり、平成23年度に繰り越しました。

（単位：千円、%）

区分	予算現額	歳入		歳出	
		決算額	収入率	決算額	執行率
国民健康保険特別会計	1,568,309	1,552,114	99.0	1,550,462	98.9
公共下水道事業特別会計	946,610	848,771	89.7	940,361	99.3
老人保健特別会計	393	2,709	689.3	252	64.1
介護保険特別会計	787,746	789,527	100.2	771,920	98.0
簡易水道事業特別会計	94,012	93,355	99.3	90,549	96.3
後期高齢者医療特別会計	136,883	136,660	99.8	132,227	96.6

## ◆水道事業会計の状況

（単位：千円、%）

区分	予算現額	決算額	執行率	
				収入
収益的収支	収入	243,286	243,386	100.4
	支出	243,285	218,212	89.7
資本的収支	収入	112,493	112,492	100.0
	支出	174,144	174,144	100.0

（予算現額及び決算額については、消費税込みの金額です。）

収益的収支については、収入が2億4338万6千円、支出が2億1821万2千円で、当期純利益が2517万4千円となりました。

資本的収支については、収入が1億1249万2千円、支出が1億7414万4千円となり、不足額6165万2千円は当年度分損益勘定留保資金と過年度分損益勘定留保資金で補てんしました。

